

H30 指導者養成講座報告

期 日 平成30年8月7日（火）～8日（水）
会 場 岡山県青少年センター閑谷学校
参加者 岡山県高等学校家庭クラブ連盟加盟校
家庭クラブ員46名 校長、顧問教師26名（計72名）

第1日目（8月7日）

1 挨拶

家庭クラブ連盟生徒会長挨拶
家庭クラブ連盟成人会長挨拶
家庭科教育協会理事長挨拶



2 伝達講習

“包む文化～風呂敷から知る日本の心～”と題して、東京での全国指導者養成講座で教わった「風呂敷の歴史、使い方」の伝達講習を行いました。まず、なぜ風呂敷と呼ばれるようになったか、また、風呂敷に込められた意味などプロジェクターなどを使いながら説明しました。その後、各自用意した風呂敷を使い、「真結び」「ひとつ結び」という基本的な結び方から応用まで実際に体験しました。参加者からは、「とっても可愛い」「風呂敷がこんな風に使えとは知らなかった」「日本の文化と知恵の凄さを感じた」という感想がありました。

3 総会

平成29年度の事業報告・会計報告、平成30年度の事業計画予算、会費値上げについて審議しました。また、8月に行われた全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座や第66回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会の報告が行われました。



4 講演

登録手話通訳者の平岡幸子先生による「出会い」をテーマに講演が行われました。まず、平岡先生がどこで手話と出会ったのかという話から始まり、私たちも手話を実際に体験する場面もありました。一番印象に残ったのは、手話は言葉であり障害者の方にとって生きるために大切だということです。人間は身体を動かすとリラックスします。リラックスすると本音と言えます、手話は本音を伝えることができます。実際に体

験してみて、両手を動かすことに違和感を覚えましたが、緊張することなくむしろ体も心もほぐれ落ち着くことができました。この講演を通して「出会い」から新たな出来事が始まる、広がる。これから起きるたくさんの「出会い」を一つずつ大切にしていこうと改めて感じることができました。

5 模範発表

昨年度の第64回岡山県高等学校家庭クラブ研究発表大会でスクールプロジェクトの発表をされた、高梁城南高等学校家庭クラブに模範発表をしていただきました。家庭クラブ員として、それぞれの学校の家庭クラブ活動を振り返る良い機会となりました。発表題目『私たちのまごころ弁当おたべんせえ～城南生の和と地域の輪で作る観光弁当～』



6 分科会1・2

各校の取り組みの様子を意見交換し、家庭クラブ活動の活性化に向けて話し合いをしました。出てきた意見は、全体会で発表できるように模造紙にまとめていきました。

第2日目（8月8日）

7 手話歌

家庭クラブの歌「明日へ」の手話歌の講習会をしました。

8 分科会3

全体会で発表できるように役割分担をし、発表の練習をしました。



9 全体会

昨日から話し合いをしてきたことを班ごとに発表しました。

10 講評

岡山県教育庁高等教育課 指導主事 山本恵先生から全体会の指導講評をいただきました。

11 閉会